



ニュースリリース

2019年1月24日

シリコン・ラボ、IoT 接続 Wi-Fi ポートフォリオの提供で消費電力が半減する、新 Wi-Fi ソリューションを発表
Wi-Fi ソリューションが、IoT 分野でのノイズの多い RF 環境に最適な、小型でセキュアなバッテリー駆動製品の開発を可能に

シリコン・ラボラトリーズ (シリコン・ラボ、NASDAQ: SLAB) は、クラス最高の電力効率、優れた RF ブロッキング性能や高度なセキュリティを具えたエンドノード製品の開発が可能となる、新 Wi-Fi ソリューション「Wireless Gecko ポートフォリオ」を発表しました。モジュールならびにトランシーバとして提供される Wireless Gecko ポートフォリオには、WGM160P モジュール、WFM200 モジュール、WF200 トランシーバ IC の 3 タイプあります。シリコン・ラボの新 Wi-Fi ソリューションは、IoT アプリケーション特有のニーズに合わせて設計されており、バッテリー駆動の IP 監視カメラ、POS スキャナ、アセット・トラッカー、パーソナル医療機器など、繊細な電力供給を必要とするコネクテッド製品に最適な Wi-Fi ソリューションであり、競合製品と比較して Wi-Fi 消費電力が半減します。

4 mm x 4 mm QFN32 パッケージで供給される WF200 トランシーバはサンプル/量産対応中、WFM200 は 6.5 mm x 6.5 mm SiP パッケージでサンプル供給中であり、量産は 2019 年第 2 四半期に開始予定です。また、PCB モジュールで供給される WGM160P はサンプル供給中で、量産は 2019 年 2 月後半を予定しています。新 Wi-Fi モジュールの価格・納期に関するお問い合わせは、シリコン・ラボ国内販売代理店にお問合せください。製品の詳細情報は、silabs.com/low-power-wi-fi をご参照ください。

シリコン・ラボで IoT 製品担当シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャーを務める Matt Johnson は、次のように述べています。「当社の Wi-Fi ポートフォリオによって、従来は不可能だった IoT 製品の設計が可能になります。IoT の開発者は、消費電力、RF のパフォーマンス、サイズ、セキュリティに関する懸案事項を解決する、アプリケーション要件に最適化された Wi-Fi ソリューションが得られます」

新 Wi-Fi ソリューションの主な特長

電力消費は既存の Wi-Fi 製品から半減：シリコン・ラボの新 Wi-Fi ソリューションを採用することで、電力消費は既存の Wi-Fi 製品から半減させることができます。業界をリードする TX 電流 (138 mA) と RX 電流 (48 mA)、スリープ電流 (<40 μ A) により、IoT のあらゆる用途で大幅な省電力を実現します。スループットに優れ、再送信が少ないことでチャンネル容量が減り、消費電力が最小化されています。

最先端のセキュリティ対応：新 Wi-Fi ポートフォリオは最先端のセキュリティに対応しており、多様な組み込みセキュリティ機能を提供します。逆行防止機能付きセキュア・ブート、セキュア・リンク、そして WPA3 など業界標準の暗号化の効率的な導入などによって、オンラインおよび物理的なハッキングから IoT 製品を保護します。

優れた RF ブロッキング性能: シリコン・ラボでは Wi-Fi デバイスに高度な RF 選択機能を組み込んでいます。近接するチャンネル・ノイズをブロックすることで、多数のコネクテッド・デバイスを利用したスマート・ホームなど、混み合った RF 環境でも、スループットと接続性を維持します。

シンプルな OS、開発ツール/認証: オプションの IoT オペレーティング・システムである Gecko OS は、設計の複雑性を軽減させる豊富な機能を備えています。Wi-Fi アプリケーションに集中した IoT の開発が可能になります。組み込みのホスト・ドライバ、Linux ホスト・ドライバを含む、包括的な開発ツールとワイヤレス・スターター・キットによって、導入後数分で開発を開始できます。事前認証された Wi-Fi モジュールは全世界で動作するため、開発期間と労力、リスクが低減します。

シリコン・ラボの包括的で柔軟性に優れた Wi-Fi ポートフォリオには、次の 3 デバイス・タイプが用意されています。

- **WGM160P モジュール:** ポートフォリオに新たに追加されたモジュールであり、設計の可能性を広げます。オンボードの Gecko マイクロコントローラ、ホストのサポート、内蔵アンテナ、事前認証、大型メモリ(2MB フラッシュおよび 512K RAM)、またイーサネットや容量タッチ機能を含む広範な周辺機能などにより、クラウドに接続可能な IoT 製品を効率的に設計できます。
- **WFM200 モジュール:** 内蔵アンテナを持つ最小の事前認証 Wi-Fi System-in-Package (SiP) デバイスであり、基板スペースに制限のある設計に最適です。WFM200 モジュールは 105°C の高温に耐えるため、産業用、屋外用としても新たな用途が広がります。
- **WF200 トランシーバ IC:** 優れたコスト効率で既存製品設計に Wi-Fi を加えることができます。多様なホスト(8 ビットから Linux クラスのプロセッサまで)に適合し、またアンテナダイバーシティにも対応しています。

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ(シリコン・ラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com)は、よりスマートかつコネクティビティを求める市場向けにシリコン、ソフトウェア、システム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコン・ラボの技術は、IoT、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場の将来を形作るものです。当社の卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアは性能、省エネルギー、コネクティビティ、簡素化に焦点をあてた製品開発を行っています。会社概要・事業詳細は www.silabs.com をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)
TEL: (米国) 1-512-532-5871、E メール: dale.weisman@silabs.com
ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

以上